

(公財) 地震予知総合研究振興会
長岡平野西縁断層帯の活動性評価に関する研究委員会 (第32回)

概要報告

1. 日時 2026年3月2日(月) 13:30~16:30

2. 出席者

主査	東北大学	名誉教授	長谷川 昭
委員	東京大学	名誉教授	岩崎 貴哉
	新潟大学	特任教授	大塚 悟
	防災科学技術研究所	フェロー	小原 一成
	地震予知総合研究振興会	会長	金沢 敏彦
	東京大学	教授	酒井 慎一
	名古屋大学	教授	鷺谷 威
	防災科学技術研究所	上席研究員	武田 哲也
	東北大学	准教授	中原 恒
	東京大学	名誉教授	平田 直
	産業技術総合研究所	上級主任研究員	丸山 正
事務局	(公財) 地震予知総合研究振興会		

(敬称略)

3. 議題

- (1) 2025年度の活動報告等
- (2) 長岡平野西縁断層帯周辺の地盤構造等の検討—レイリー波の分散曲線から推定した速度構造を用いた地震波伝播シミュレーション—
- (3) 深層学習とデータ駆動型地震・雑音分類法に基づく多点観測波形データからの地震波検測手法

4. 委員会の状況

2025年度の活動報告として①地震活動状況等について、②GNSS観測結果等について説明があったのち、レイリー波の分散曲線から推定した速度構造に関する検討、深層学習を用いた地震波検出手法に関する最新の調査研究について話題提供があった。

(1) 2025年度の活動報告等

2025年度の活動報告が行われた。

- ① 本検討で整備した稠密地震観測網（AN-net）の維持管理状況および地震活動状況の説明が行われ、委員会では、長岡平野周辺の震源分布および速度構造について意見交換が行われた。
- ② GNSS観測結果等について、長岡平野周辺の地殻変動状況、およびひずみ速度分布の推移について説明が行われ、委員会では、GNSS観測点の状態、令和6年能登半島地震の余効変動について意見交換が行われた。

(2) 長岡平野西縁断層帯周辺の地盤構造等の検討—レイリー波の分散曲線から推定した速度構造を用いた地震波伝播シミュレーション—

長岡平野を対象にレイリー波の分散性を利用して推定した浅部S波速度構造を用いた数値シミュレーションの結果が紹介された。委員会では、全国一次地下構造モデルとの比較について議論された。

(3) 深層学習とデータ駆動型地震・雑音分類法に基づく多点観測波形データからの地震波検出手法

地震波形をP波、S波、ノイズの3つの波相に判別する深層学習モデルを用いた地震波検出手法について、長岡平野の地震記録を対象とした検討結果が紹介された。委員会では、検出に用いる地震波の時間窓について議論がなされた。

以 上